



と話 良の 奈の 酒の ①

清酒発祥の地・正暦寺

「酒」は、常に人類の歴史や文化とともにあり、世界にはその国ならではの特色ある酒があります。どの国も固有の酒は、その国の主食を原料に造られているようですが、このことから酒の発祥が古い時代に遡ることがわかります。現在、日本国内では世界各地の酒類が飲まれています。今でも単に「お酒」といえば、米で醸された日本酒を指します。日本人と日本酒は、悠久の歴史の中で深い結びつきをもってきました。

朝廷から寺院へ

酒は、古くから色々アレンジされ、楽しまれてきたようです。平安時代に編纂された「延喜式」には十四種類の酒について記述があり、平城京跡からは清酒(スミサケ)、白酒(シロキ)、黒酒(クロキ)、薬酒などさまざまな種類の酒を記した木簡や、奈良漬のルーツともいえる記載のある木簡が出土しています。しかし、ここでいう清酒は、濁酒を絹で濾したり上澄みを取ったりしたものでした。現在、飲まれているような清酒が造られるようになるには、政治の中心が貴族から武家へと移る中世まで待たなければなりません。



正暦寺福寿院の門



清酒発祥の地の碑

奈良流は 酒造り諸流の根源なり

今ではひっそりと山里に溶け込むようにある正暦寺ですが、室町時代の最盛期には八十六もの塔頭が建ち並ぶ大寺院で、大量の僧坊酒が造られていました。そこで、仕込みを3回に分けて行う「三段仕込み」や麴と掛米の両方に白米を使う「諸白」造り、酒母の原型である「菩提飯」造りが行われ、さらにフランスの細菌学者であるパスツールが、ワインの火入れ方法を発見する300年ほど前に、腐敗を防ぐための火入れ作業を行うなど、近代醸造法の基本となる酒造技術が確立されていました。また、この頃には大工道具の発展によって、それまでの壺や甕による酒造りから大桶を使用した酒造りが可能となり、生産量、生産技術、品質ともに飛躍的に向上した時代でもありました。特に「奈良酒」「諸白酒」は高級酒の代名詞となり、当時の補日辞典に記載されている酒に関わる単語のほとんどが、奈良酒に関わりのあることばで占められていたほどです。また、幕府が置かれた江戸でも「奈良酒」は珍重され「くだり酒」として奈良から江戸へと運ばれました。以上のように歴史的背景からみても奈良は日本の清酒発祥の地であると言えることができます。

大和のうま酒

奈良流は、酒造り諸流の根源なり。南都大寺院から伝わった酒造りがここにある。



日本清酒発祥之地

と話 良の 奈の 酒の ②

酒造りの神・大神神社

奈良県桜井市三輪の大神神社には、酒の神である大物主大神が祀られ全国の酒造家の信仰を集めています。さらに、その境内には杜氏の祖と言われる活日(かひ)を祀った活日神社もあります。また、三輪に係る枕詞が「味酒」ということから奈良と日本酒が、いかに関係深いかを窺い知ることができるといえます。

酒造りの神秘の地「三輪」

三輪山をご神体とするわが国最古の大神神社と日本酒にも、深いつながりがあります。三輪の大物主大神は酒造りの神で、古来、酒造家は三輪の神に大きな崇敬を寄せてきました。また大神神社の摂社には、酒造りを行う杜氏の祖神を祀る活日神社があります。

この「祭神・活日命」に関しては、「日本書紀」の「崇神天皇紀」に、国内に疫病が流行し混乱を極めた際に三輪の大神様を祀ったことが記され、活日命が酒造りを行う杜氏の祖であることとともに、このような古い時代から大神神社には聖なる酒を醸す職掌が存在したことがわかります。

酒業講としての杉玉

この大神の神と杜氏の祖神の御神徳を慕う全国の酒造家の集まりが、「酒業講」で、毎年、11月14日の「醸造安全祈願祭(酒まつり)」には、酒業講の講員が御神前に集い、一同が神の御威徳を賜り、心も新たに新酒の醸造に励むことを誓います。お祭りでは、活日命が神酒を天皇に献上したときに詠まれた歌を神楽にした「うま酒みわの舞」が、巫女たちによって厳かに華やかに舞われます。

この祈願祭の折、神社から下されるのが三輪山の聖なる杉で作られた杉玉「しるしの杉玉」です。酒林とも言う

日本文化としての酒

最近では若い人々を中心に、日本の伝統文化が見直されつつあります。私たち酒造関係者も今こそ酒造りの原点に立ち返り、三輪の大神様や活日命の故事を改めてかみしめながら、ご神事のなかの酒、日本文化のなかの日本酒の役割について見つめ直したいと考えています。

かつて日本人は、米に生命のエネルギーとして、その神の靈性を見ました。その象徴、エッセンスが、神事に欠かれない餅であり、酒でした。大神祭の神饌の第一が酒であったこと、酒が神と人をつなぐ聖なるものであったことなど、古き時代における神と酒の関係、酒造りについて、現代的意味を改めて深く考え、酒造りに励みたいものです。

またそれと同時に、日本の酒の本来の美味しさを知っていただくべく、努力してまいりたいと思います。酒の正しいお燗の仕方、美味しく飲む酒器の選び方などのご提案を通し、日本酒本来の美味しさをご理解いただければと思います。

神代の時代から国の風土に培われ、大切に育まれてきた「日本文化としての酒」。これが今後の日本酒業界を考えるキーワードであると思っています。この奈良の地で日本酒を醸させて頂けることに、私ども奈良県の酒造家は誇りをもっています。



奈良県酒造組合 奈良県酒造協同組合

〒635-0015 奈良県大和高田市幸町2番33号 ☎0745-51-3388 E-mail nara-sake@nifty.com http://www.yamato-umazake.com

奈良県酒造組合 検索

奈良県酒造組合

Table with 4 columns: 酒蔵名, 代表銘柄, 住所, 電話. Lists 28 breweries and their details.

# 大和のうま酒

奈良流は、酒造り諸流の根源なり。  
南都大寺院から伝わった酒造りがここにあり。

日本清酒発祥之地



よろこびの酒  
「豊祝」で乾杯！

生産酒の8割が純米酒以上の「特定名称酒」。  
創業から手造りに徹したこだわりが誇り。

奈良豊澤酒造 株式会社  
〒630-8444 奈良市今市町405  
TEL 0742-61-7636 FAX 0742-61-7658  
http://nara-toyosawa.jp



本当に美味しい酒を  
飲んでいただきたいですか？

春日山原林山麓の名水地・清水町にて江戸  
以前創業の酒造家を継承。品質第一の酒造り。

八木酒造 株式会社  
〒630-8301 奈良市高畑町915  
TEL 0742-26-2300  
FAX 0742-27-1841



旨酒を  
世界10数カ国へ発信

興福寺・元興寺など世界遺産に接近し、  
風情を残す奈良町にて明治17年に創業。

株式会社 今西清兵衛商店  
〒630-8381 奈良市福智院町24-1  
TEL 0742-23-2255 FAX 0742-27-3585  
http://www.harushika.com/



創業300有余年。  
自然と伝統が織りなす  
この一献。

創業1705年(宝永2年)暗峠越え奈良街道の  
宮場町小瀬の地で脈々と酒造りを続けています。

菊司醸造 株式会社  
〒630-0223 生駒市小瀬町555  
TEL 0743-77-8005 FAX 0743-77-8420  
d.k.0225@mopera.net



伝統と手作りを大切に  
今様をさぐる

創業以来400有余年、酒に心ありをモットーに  
生駒の名水と酒米を採り、なす芳醇で上品な味。

上田酒造 株式会社  
〒630-0222 生駒市志分町866  
TEL 0743-77-8122 FAX 0743-76-0701  
http://ueda-syuzou.co.jp/



氷室の里  
都祁の銘酒

恵まれた自然環境のなか、昔ながらの伝統的  
製法で醸した深い味わい。まほろばの清酒。

倉本酒造 株式会社  
〒632-0231 奈良市都祁山町2501  
TEL 0743-82-0008 FAX 0743-82-1748  
kuramoto-shuzou@comet.ocn.ne.jp



米と水、伝統と技術、  
自然環境の基で造られた  
淡麗辛口酒である。

350年12代にわたり、創業の地標本屋にて  
銘酒、奈良酒の伝統を守り続ける老舗酒造り。

増田酒造 株式会社  
〒632-0003 天理市岩屋町42  
TEL 0743-65-0002 FAX 0743-65-3231  
http://masuda-shuzou.co.jp/



心ふるさと天理  
歴史に育まれた地で  
旨い酒造りの継承

人と土の繋がりを大切に、地元の米、水人に  
こだわり、食事がすすむ酒造りを追求。

稲田酒造 合名会社  
〒632-0015 天理市三島町379  
TEL 0743-62-0040 FAX 0743-63-5563  
http://inaten.com



創業享保12年、  
生駒の山懐で頑ななまでに  
真面目な酒造りにこだわる。

華やかな香り、スッキリとした口あたり。純米酒  
の美意識が五感に響く酒造り。

株式会社 中本酒造店  
〒630-0131 生駒市上町1067  
TEL 0743-78-0005 FAX 0743-79-0360  
http://yamatoru.com



歴史と伝統が織りなす  
味わいある地酒

近世の町並みが残る今井町の現役酒蔵。  
代表銘柄「出世男」は、正に縁起酒と評判。

河合酒造 株式会社  
〒634-0812 橿原市今井町1-7-8  
TEL 0744-22-2154  
FAX 0744-24-1061



歴史と喜びを伝える  
権原の美酒

大和の文化の源、権原で享保3年に創業。  
品質第一に守るは創業者のこだわりの酒造り！

喜多酒造 株式会社  
〒634-0062 橿原市御坊町8  
TEL 0744-22-2419 FAX 0744-25-3588  
http://www.miyokiku.com/



大和から大坂、東京  
そして世界へ

嘉永6年創業。東京市場を開拓後、海外でも  
醸造販売。大和の清酒の味を世界へ届ける。

中谷酒造 株式会社  
〒639-1117 大和郡山田番条町561  
TEL 0743-56-2208 FAX 0743-56-2464  
http://www.sake-asaka.co.jp/



昇道無窮極  
良い酒造りを目指す道に  
終わりは無い。

日本初の瓶詰め樽酒「吉野杉の樽酒」。伝統を  
守り挑戦を続け、喜びと感動を届ける酒造り。

長龍酒造 株式会社  
〒635-0818 北葛城郡広陵町南4  
TEL 0745-56-2026 FAX 0745-56-3080  
http://www.choryo.jp



飲む人の  
心に語りかける酒造り

山田錦中心の米と超軟水の葛城山系伏流水で  
仕込んで醸す酒は、やわらかくきめ細かな味。

梅乃宿酒造 株式会社  
〒639-2102 葛城市東室27  
TEL 0745-69-2121 FAX 0745-69-2122  
http://umenoyado.com/



山麓の懐深き。  
水もとの素材な味わい。  
風土に根ざす蔵の味。

二上山麓の誕生以来、100有余年。山麓に  
こだわり、個性豊かで品の良い酒造りを追求。

株式会社 大倉本家  
〒639-0227 香芝市鎌田692  
TEL 0745-52-2018 FAX 0745-78-0019  
http://www.kinko-ookura.com



創業300年  
確かなものを

米と水が命の酒造りに適した地、吉野川の  
清流沿いの酒蔵。富有柿を使った柿ワッペンも。

株式会社 山本本家  
〒637-0042 五條市五條1-2-19  
TEL 0747-22-1331 FAX 0747-22-3366  
http://www.yamamoto.com



櫛羅の風土と  
人の和で醸す  
やさしいお酒。

自社井戸から汲み出した葛城山の伏流水で仕  
込んだお酒。軟水の特徴を活かしたため、さらさら  
やさしい味わい。代表銘柄「櫛羅」は、

千代酒造 株式会社  
〒639-2312 御所市大字櫛羅621  
TEL 0745-62-2301 FAX 0745-62-0127  
http://www.chiyosuzuko.co.jp



時を超える  
永遠の美酒

酒造好適米「備前雄町」に醸せられて。米に  
こだわり、米の旨さを感じさせる酒造り。一筋。

葛城酒造 株式会社  
〒639-2321 御所市大字名柄347-2  
TEL 0745-66-1141 FAX 0745-66-1548  
katuragi@pop02.ocn.ne.jp



かざろひの里  
大寺院の地酒

織田家の城下、大和の国守の寒冷地ならではの  
恵まれた自然。水と良米が造り出すうま酒。

芳村酒造 株式会社  
〒633-2163 宇陀市大宇陀万六1797  
TEL 0745-83-2231 FAX 0745-83-0840  
http://www.begin.or.jp/inadoya/



お客様に喜ばれ  
愛されるお酒の製造を  
モットーに。

談山神の麓で明治から酒造業を開始。大和の  
一番米で仕込む「純米」酒を豊富に品揃え。

西内酒造  
〒633-0042 桜井市大字下3  
TEL 0744-42-2284 FAX 0744-45-1015  
nara\_tanzan@quartz.ocn.ne.jp



「三輪を飲む」  
三輪山の伏流水で  
仕込む三輪の地酒

酒造好適米「備前雄町」に醸せられて。米に  
こだわり、米の旨さを感じさせる酒造り。一筋。

今西酒造 株式会社  
〒633-0001 桜井市大字三輪510  
TEL 0746-32-2020 FAX 0746-32-2570  
http://www.imanishiyuzou.com/



時代流されない  
直向な酒蔵

品質第一をモットーに米の旨味が引き出され  
た、味わい深い「コト」や「カネ」の酒造り。

藤村酒造 株式会社  
〒638-0041 吉野郡下市町下市154  
TEL 0747-52-2538 FAX 0747-52-8739  
http://yoshino-umazake.com/natu.htm



悠久の里「吉野」  
脈々と受け継がれる  
杜氏伝統の技で醸す酒。

手造りにこだわり、伝統の技で醸す。口当たりの  
柔らかい酒。

株式会社 北岡本店  
〒639-3111 吉野郡吉野町市61  
TEL 0746-32-2777 FAX 0746-32-8744  
http://www.kitaoka-honten.com/



遙かな歴史と  
豊かな歴史が  
磨いた酒「狸々」

天明8年創業。吉野山の修験者や仙人たちが  
「吉野の靈酒」と珍重。時代は移るが、酒造り  
の味は。

北村酒造 株式会社  
〒639-3111 吉野郡吉野町大字上市172-1  
TEL 0746-32-2020 FAX 0746-32-2570  
http://www.kitamurasayuzou.co.jp

三の蔵  
（清酒、健康食品、音楽院）  
を有する蔵。

明治に継承し酒造業を創業。伝承と確信を  
理念に、奈良酒の伝統を継承した酒造り。

三の蔵  
（清酒、健康食品、音楽院）  
を有する蔵。

明治に継承し酒造業を創業。伝承と確信を  
理念に、奈良酒の伝統を継承した酒造り。